様式2

まちづくり交付金　事後評価シート

吉田地区

平成22年1月
新潟県　燕市

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県	市町村名	燕市	地区名	吉田地区			面積	590ha
交付期間	平成17年度～平成21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	1,639百万円	国費率	0.429		

1）事業の実施状況

		事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路（県道石瀬吉田線歩道整備事業、市道吉田306号線歩道整備事業、市道吉田301号線歩道整備事業、市道吉田支線14号線歩道整備事業、（都）諏訪線街路事業）、公園（吉田大保町ちびっこ広場、みなみ親水公園）、地域生活基盤施設（公園案内板等）、高質空間形成施設（天満宮参道の石畳整備）、高次都市施設（長善館及び旧鈴木邸）、既存建造物活用事業（旧鈴木邸移設）
	提案事業	事業活用調査（長善館の保全と活用に関する調査）、まちづくり活動推進事業（新設公園等計画住民懇談会）

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業	①公園（親水公園整備事業（西川沿い））②高質空間形成施設（市道吉田9号線道路の歩道、西川沿い遊歩道）③高質空間形成施設（市道吉田30号線道路）	①住民との話し合いの結果、公園の必要性が低いと判断したため ②住民懇談会及びまちづくり住民会議の提言を受け必要性が低いと判断したため ③住民の意向により、整備内容を変更したため高質空間形成施設から、基幹事業（道路）へ変更した方が適切であると判断したため	①指標3に影響はあるが他の新設公園を利用するため影響が軽微である。②指標1、2を下方修正 ③高質空間整備から道路への変更のため影響なし
	提案事業			
新たに追加した事業	基幹事業	①道路（市道吉田30号線道路整備事業）、②地域生活基盤施設（排水対策事業）	①住民の意向により、整備内容を変更したため高質空間形成施設から、基幹事業（道路）へ変更した方が適切であると判断したため追加 ②冠水被害を解消し住環境の向上を図るため追加	①高質空間整備から道路への変更のため影響なし ②指標2に関連するが他の要因により下方修正
	提案事業	①地域創造支援事業（長善館及び鈴木邸整備事業） ②事業活用調査（事業効果分析）	①利用計画の見直しを行い、全体整備計画の一部は提案事業（地域創造支援事業）として整備した方が適当であると判断したため追加 ②総合的に事後評価を行っていくため必要と判断したため追加	①影響ない ②影響ない

			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響
交付期間の変更	当　初	平成17年度～平成21年度	
	変　更		

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値 モニタリング	数値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	観光入り込み客数の減少の抑制	人/年	73,000	H16	26,250	H21		45,000	○	あり		まちづくり交付金事業により、一定の効果が発現している。	なし
										なし			
指標2	定住人口の減少の抑制	人	25,477	H15	25,050	H21		24,923	△	あり		数値目標には達しない見込みだが、減少に歯止めをかけたことは評価できる。	平成22年4月
										なし	●		
指標3	公園利用者の増加	人/日/2公園	0	H15	240	H21		221	△	あり	●	公園の新設を行い利用者が増加した。	平成22年6月
										なし			
指標4										あり			
										なし			

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値 モニタリング	数値 評価値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1	吉田地区の世帯数	世帯	7,925	H16				8,100			公園、道路等の生活環境整備の効果が吉田地区の世帯数の増加となった。	平成22年4月
その他の数値指標2												
その他の数値指標3												

4）定性的な効果発現状況

・道路、公園等の施設整備において、住民懇談会等を開催し整備した結果、住民の意見を取り入れた生活環境の改善整備が出来た。

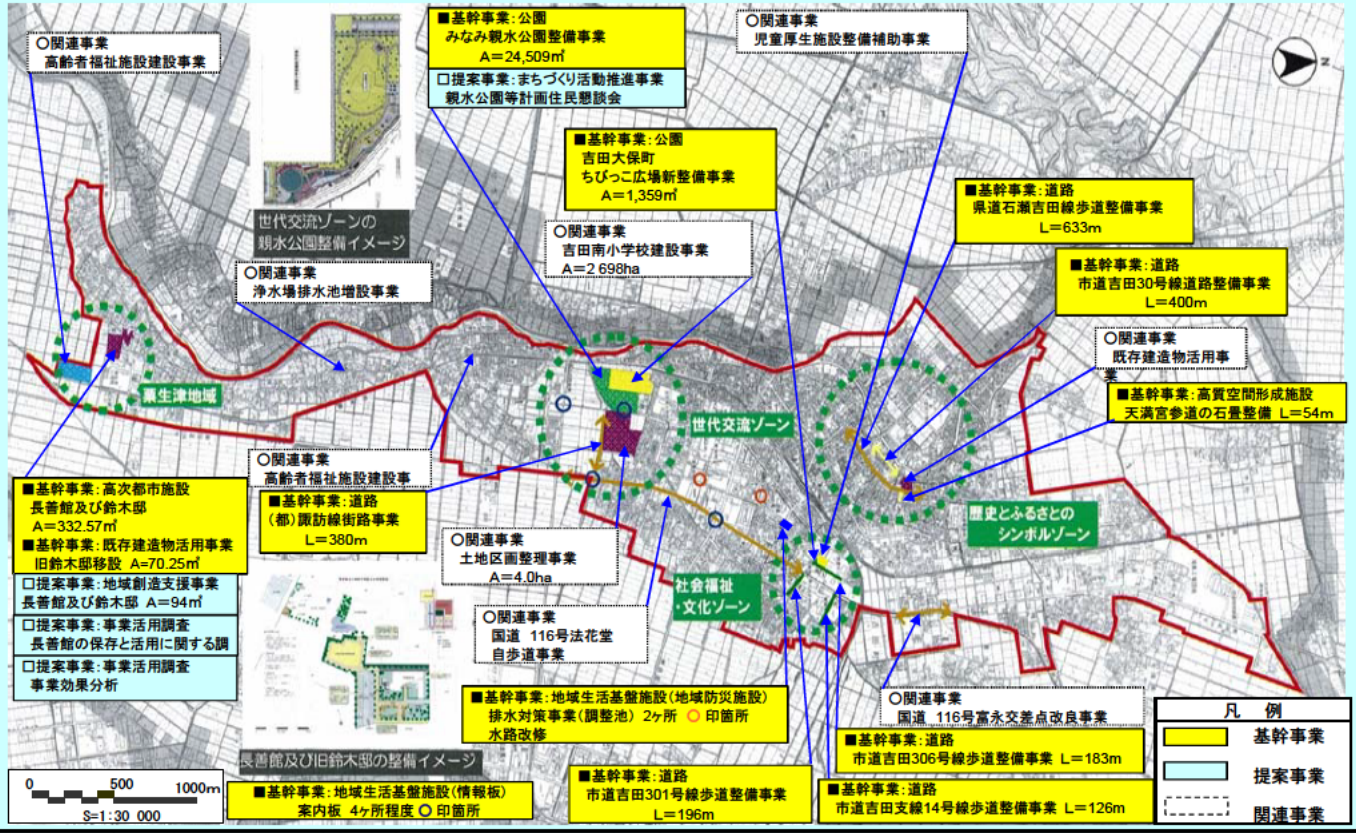
5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	交付期間中（中間期）におけるモニタリングの実施	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	観光入り込み客数、定住人口は、市の統計書により確認する。みなみ親水公園の利用者数を管理日誌で確認する。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス	新設公園や環境整備事業等のワークショップ 燕市まちづくり住民会議（100人委員会）	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	整備施設の利活用、イベント等をまちづくり協議会等で継続的に実践する。また燕市全体の意見として、今後は燕市総合計画審議会で審議を行い今後の事業の計画立案に反映させる。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	事業終了後の住民等による持続的なまちづくり活動	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	まちづくり協議会と地元住民による主体的な活動を推進していく。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式2－2　地区の概要

燕北部地区（新潟県燕市） まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:「地域資源を活かしたまちなか交流・定住空間の再生」 目標1:郷土の歴史的資源を活用した交流空間整備によるまちなかの再生 目標2:自然環境を取り込んだ憩いの市街地空間の整備 目標3:安全・快適で魅力ある歩行者空間の整備	観光入り込み客数の減少の抑制	単位:人/年	73,000	H16	26,250	H21	45,000	H21
	定住人口の減少の抑制	単位:人/年	25,477	H15	25,050	H21	24,923	H21
	公園利用者の増加	単位:人/年/2公園	0	H15	240	H21	221	H21
		単位:						



まちの課題の変化	・地域資源を活用した総合型な生活環境の改善として市街地の道路、歩道、公園の整備により利用者及び訪れる人の利便性が向上した。 ・定住・交流基盤の改善として、排水対策、道路、歩道、公園等の整備実施により安全安心して住める交流基盤が整備された。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	・住民主体による活動を持続的に発展させ、住民が地域に愛着を感じながら暮らせるよう、地域主体によるまちづくり活動を持続的に行っていく。 ・定住の促進を図るため、宅地拡大となる土地利用対策を図る。

様式4

都市再生整備計画　フォローアップ報告書

吉田地区

平成23年2月

新潟県燕市

1．数値目標の達成状況の確認（確定値）

様式4－①　都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	観光入込み客数の減少の抑制	人/年	73,000	26,250	45,000	確定 ●	○	あり					□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	天満宮参道、県道石瀬吉田線等の事業を実施した結果、平成20年度で減少傾向が底打ちとなり、平成21年度では上昇した。
						見込み		なし						
指標2	定住人口の減少の抑制	人	25,477	25,050	24,923	確定	△	あり	24,812	H22年4月	△	予想以上に人口減少が続いた。	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	数値目標より低い水準ではあるが、諏訪線、公園整備等の住環境整備及び関連事業の土地区画整理事業により世帯数の増加し一定の効果があった。
						見込み ●		なし ●						
指標3	公園利用者の増加	人/日/2公園	0	240	221	確定	△	あり ●	308	H22年6月	○		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	みなみ親水公園、吉田大保町ちびっこ広場の供用開始により、利用者が増えた。
						見込み ●		なし						
指標4						確定		あり					□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
						見込み		なし						
指標5						確定		あり					□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
						見込み		なし						

事後評価シート　様式2-1及び添付様式2-①から転記　※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4－②　その他の数値指標の確定

指標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	吉田地区の世帯数	世帯	7925		8100	確定			8120	H22年6月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	諏訪線、公園整備等の住環境整備及び関連事業の土地区画整理事業により世帯数が増加した。
						見込み ●								
その他の数値指標2						確定				H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
						見込み								
その他の数値指標3						確定				H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
						見込み								

事後評価シート　様式2-1及び添付様式2-②から転記　※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4－③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5－③に記載した 今後のまちづくり方策（事項）		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	地域資源を活用した潤いある交流基盤の創出	みなみ親水公園の利活用を地域住民及び地元企業が主体的におこなっている。	地域住民、地元まちづくり協議会、地元企業から愛着を感じる公園となり、交流人口が増加している。	今後もまちづくり協議会、自治会を中心とした事業を展開し交流人口を増加し地域の魅力を深めたい。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	定住人口の促進	みなみ親水公園隣接地で土地区画整理事業が完成した、また隣接地に都市マスタープランで都市の均衡のある発展を推進する区域を設定した。住環境整備として、公共下水道事業を実施している。	土地区画整理完成、及び住環境整備の充実により世帯数が増加した。	今後は、新たに土地区画整理の実施計画を促進すると共に、公共用地（吉田南小学校跡地）の宅地開発計画を促進する。

事後評価シート 添付様式5－③から転記

様式4－④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項